

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム (第2回会議)の開催結果について

令和4年11月21日
空港港湾課

鳥取砂丘コナン空港と周辺観光地等を結ぶ二次交通改善活動プラットフォーム(第2回会議)が民間主導で開催されましたので、結果について報告します。

1 開催結果

- (1) 日時：令和4年10月27日(木) 午後2時30分から午後4時30分まで
- (2) 場所：鳥取砂丘コナン空港 国際線ターミナルビル 2階(出国待合室)
- (3) 構成員：【座長】鳥取大学教授 谷本圭志、【航空関連】ANAホールディングス㈱、ANAあきんど㈱、全日本空輸㈱、【交通事業者】西日本旅客鉄道㈱米子支社、日ノ丸自動車㈱、日本交通㈱(新規入会員)、鳥取ハイヤー共同組合、ニッポンレンタカー中国㈱、【観光団体・民間会社】鳥取商工会議所、鳥取県商工会連合会、(一社)鳥取市観光コンベンション協会、(一社)麒麟のまち観光局、(有)コナン・クリエイション(北栄町観光協会)、鳥取空港空の駅オヤジの会、鳥取空港空の駅女子会
【オブザーバー】鳥取市、倉吉市、岩美町、八頭町、湯梨浜町、北栄町、鳥取県(空港港湾課、地域交通政策課、観光戦略課)【事務局・調査会社】鳥取空港ビル㈱、八千代エンジニアリング㈱(以上、順不同・名簿順：出席者32名)
- (4) 結果概要：各種アンケート調査結果、携帯GPSデータの移動実態分析結果、事業者ヒアリング結果、出口戦略の方向性についての説明の後、意見交換が行われ、「(5) 主な意見」に記載のとおり様々な意見をいただいたが、出口戦略の方向性については承認を得た。
- (5) 主な意見：
 - レンタカーと非レンタカーの利用者を比較すると、非レンタカーの利用者は観光地を十分に回り切れていない。このことから、レンタカー以外の二次交通の潜在需要が多いともいえる。
 - 第一段階の方法として、既存路線の活用も進められればと思う。
 - アンケート調査で賀露(鳥取港が近い)を知らない人が多かった。賀露路線はどこへ行くか分からない。
 - タクシー配車GOアプリが流行っているが、鳥取の場合は予約があっても配車できる車がないという事業者が多い。タクシーの台数に対しドライバーが半数もおらず、車両待機が難しい。ドライバーは高齢という状況である。GOアプリで予約しても30分しないと配車できず、苦情がくる心配がある。
 - キャッシュレスについては、かなりの投資が必要となる。経済的に厳しい会社が10社中半数ある。
 - バスには補助金があるが、タクシーには補助金の制度がない。
 - 出口戦略の考え方、進め方、やろうとすることは良いが、リスクをどのように分担するかが最後の最後の出口で課題となると思う。
 - 利用者支援として、ターゲットは観光客になるが県内の方もいる。まずは来てもらう、お金を落としてもらう、滞在時間を増やしてもらうことが一番だと思う。
 - 情報プラットフォームの提案はそのとおりで、情報の作り方、見せ方など大事にしながら、いかに連携を図っていくか大事になる。
 - 一つの鳥取チームとして、何ができるのか出し合う会議にしてほしい。民間企業としては損益分岐点、利益が大事である。利益の出るサポートを考えてほしい。絵に描いた餅は駄目。次回会議では実際のプランが見たい。
 - 大阪万博2025の開催で、海外からの来訪者もターゲットにすると良い。関空インで鳥取に向かわせる。

2 今後の予定

会議意見を踏まえ、出口戦略の実施に向けて役割分担・実施範囲を関係者間で協議し、取組み内容、スケジュール、実施主体等をまとめた「(仮称)鳥取空港航空機利用・地域交通戦略」を策定する。令和4年度最後の第3回会議(令和5年1月頃)では、同戦略を確認するとともに令和5年度以降の展開を協議する。

3 今回会議で示された資料抜粋



図-1 取組みの方向性のイメージ(出口戦略)

